



新しい年を迎えて

参議院議員・薬剤師 本田 顕子

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

会員の皆様におかれましては、穏やかに新たな年を迎えられたことと存じます。本年もよろしく願い申し上げます。

昨年は元日に能登半島地震が発生しました。復旧・復興に向けた活動は、被災地の皆様のご努力と全国からの温かいご協力に支えられながら今も続けられています。その日から1年、大規模災害に見舞われた全国各地の一日も早い復旧・復興を願うにあたり、改めて防災対策の強化・徹底の必要性を痛切に感じます。

また、昨年は第8次医療計画の下で地域の実情に即した医療提供体制が動き出した年でもありました。報酬上の評価と連動させた形で医療政策の実効性を高め、地域医療構想を実現へと導く大事な時期を迎えています。そのため、引き続き本年も物価高対策や賃上げ対応につながる経済対策を講じつつ、地域医療介護総合確保基金の活用等を通じて必要な医療人材を確保のうえ、5 疾病 6 事業および在宅医療の全てにおいて薬局の機能および薬剤師の職能を遺憾なく発揮して、地域医療を支えていただくことを祈念します。

本年は巳年。

脱皮を繰り返すヘビの特性が常に「生まれ変わる」ことを連想させ、餌を食べなくても我慢強く生きながらえるため、「生命（いのち）」や「生命力」を象徴する動物として医療との縁が深いとされており、薬学のシンボルとも言われる「ヒュギエイア（Hygieia）の杯（さかずき）」にはヘビが巻き付いています。

医薬品を濫用等させないための販売方法の確立、必要な医薬品・医療機器の開発および品質確保などを念頭に置いた薬機法改正や、電子処方箋の普及などに伴う薬局の更なるDX化、そして医薬品供給不足の解消など、本年も喫緊の課題への対応が控えております。

そのような中、「健康」、「衛生」といった言葉の語源とも言われる女神ヒュギエイアに倣い、国民のいのちと暮らしを守るために、参議院議員としての5年余りの経験と、その間の約2年に及ぶ大臣政務官としての実績を生かし、これからも薬剤師や薬業界を取り巻く現下の課題解決と政策実現に向けて力を尽くしてまいります。

現在は自民党女性局長として、全国の黨員の方々と語る機会を通じて党の信頼回復に努めているところ、自民党は結党70年を迎えた今こそ、立党の精神「政治は国民のもの」に立ち返らなければならないと考えています。

結びに、会員の皆様にとりまして本年が実り多き1年となりますことをお祈り申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

2025年も変わらぬご指導をよろしくお願い申し上げます。

